

重要な構成要素「映画の碑・常夜燈」

建立：1976（昭和 51）年

参道の景観を構成する要素

参道の起点となる「帝釈天王安置の碑」の対面の場所に立つ、柴又を舞台とした映画『男はつらいよ』の記念碑です。

「映画の碑」は、山田洋次監督きこう揮毫により、

『私 生まれも育ちも葛飾柴又です 帝釈天で産湯をつかい

姓は車 名は寅次郎 人呼んで フーテンの寅と発します』

の名台詞が刻まれています。1976（昭和 51）年 6 月吉日に、地元、松竹株式会社、渥美清あつ みきよしさんによって建立されました。

また、「映画の碑」の前には、映画で主人公の「車寅次郎」を演じた渥美清さんが 1976（昭和 51）年 7 月吉日に寄進した「常夜燈」が建立されています。

日本の映画史を代表する山田洋次監督の国民的映画『男はつらいよ』と葛飾柴又との関係を後世に伝える記憶装置として貴重なモニュメントです。